

生産作品展示会 十七の両日

本村公民館蔵分館では中央農協とタイアップして十七、十八の両日蔵小学校で生産作品展示会を開催する。

これは、生活改善と生産意欲を高めることが主なねらいで、第一部農産物、第二部料理、漬物類、第三部和裁等の手芸品が展示され出品点数三〇〇が見込まれている。

また、十七日午後からさん俵編競技会、十八日農事座談会、生活改善座談会として部落代表などの経験発表を中心に行われる。なお期間中、蔵小学校児童の書初めも展示されるなど多彩な日程でくりひろげられる。

願書〆切・二十四日

下郷分校で生徒募集

本荘高校下郷分校では今春同校に入学させる生徒を募集しています。

入学資格は

1、新制中学校またはそれに準ずる学校を卒業した者および本年三月卒業見込みの者。

2、監督庁の定めるところにより新制中学校卒業者と同等以上の学力があると認められた者(次の各号の一に該当する者)

イ、外国において九ヶ年の学校教育を修了した者。

ロ、新制高等学校において新制中学校卒業と同等以上の学力ある者と認められた者(昭和十九年四月一日以前の出生者)

ハ、青年学校本科一学年以上を修了した者。

シ、同校に入学を志望する者は全日

丁、青年学校本科一学年以上を修了した者。

エ、同校に入学を志望する者は全日

オ、青年学校本科一学年以上を修了した者。

カ、同校に入学を志望する者は全日

メ、青年学校本科一学年以上を修了した者。

ソ、同校に入学を志望する者は全日

タ、青年学校本科一学年以上を修了した者。

ハ、同校に入学を志望する者は全日

シ、青年学校本科一学年以上を修了した者。

オ、同校に入学を志望する者は全日

メ、青年学校本科一学年以上を修了した者。

ソ、同校に入学を志望する者は全日

タ

青年学級の方向などを討議

第四回中央青年学級



十二月二十日 公民館主催による第四回中央青年学級が開催された。

○集会場がほしい。(学校の一部でも)

○青年には、最大限の力を注いでもらいたい。

○主事には各集会を巡回して指導してもらいたい。

○分館関係者がタツチしないのででもつと本館で指導してもらいたい。

○映写機を単青単位で活用させてもらいたい。

○理解を得るためにもつと村民全般の意識を高める方策をとつてもらいたい。

○組織の明りよう化

また、青年学級の運営のあり方については、

○主体を青年会において教養面で強力なものにする。

○運営委員制が適当

委員には青年会幹部が若干入り学級主事、分館長も参加する。

○組織の明りよう化

青年会と青年学級を一本化し

などが示されて午後四時終了した。

【写真は真剣に討議する学級生】

教育の大手なことは皆が知っています。年の大きな問題は定時制高校が独立校舎国をつくるにも、村をつくるにも、一切の行政に先立つてその土台をつくるのは教育だからです。そのため、あれもこれもとやりたいこと、やらねばならぬことは限りなくあります。一方村の力にはかぎりがあつて思うことがなかなかほんとのところです。

中央青年学級は、各单位青年学級の企画運営をほんとうに自分のものとして役立たせるための自治学習をもたせて、各単位学級の発展・充実への推進力となるリーダーの養成を行っているものです。

この日は、「青年学級の今後のあり方」について討議してありました。

○教育映画を分館単位で、もつと父兄に見せてほしい。

これは、木工業の進歩発展と品質のよい安価な製品をつくるのが主な目的で、これによる木工製品の村内需給がはやくも期待されています。

家具建具業組合設立

2月8日に

全村青年球技大会

村内の家具や建具をつくつてゐる大工さん達が、このほど東由利村家具建具業組合(組合長畠山昇)を組織しました。

これは、木工業の進歩発展と品質のよい安価な製品をつくるのが主な目的で、これによる木工製品の村内需給がはやくも期待されています。

裁縫学級を開設

村内各分館にて



日まで洋裁。また夜間学級として女中さんなどを対象に一月十日から二月五日まで和裁。講師和裁加藤三郎、洋裁高沢ミツヨ。

袖山分館 一月四日から向う一ヶ月間和裁。講師小松アイ子。

老方分館 一月十六日から三月二十日までの間に百五十時間を目標に洋裁、編もの。講師本荘和嘉子。

住吉分館 一月七日から向う二日間和裁。講師和裁渡辺フサ子。洋裁小松フサミ。

高下郷分校、村上元子、佐々木和嘉子。

宿分館 一月五日から二月五日まで(日曜休み)和裁、目標はふだん着男女物。講師梅津靖子の遠藤昭。

ふだん着男女物。講師梅津靖子の遠藤昭。

柚山分館 一月四日から向う一ヶ月間和裁。講師小松アイ子。

和嘉子。

日まで和裁と編もの、衣服のつくり方、編ものの基本、機械の操作。講師和裁遠藤ミツ、編も

の遠藤昭。

玉米分館 一月五日から三十一日まで洋裁。講師阿曾フキ

玉米分館 一月五日から三十一日まで和裁。二月一日から十五日まで和裁。

新年名刺交換会

玉米分館、新生活シリーズのコマである新年名刺交換会が正月の一日、玉米小学校で開かれました。この日は部落民約三〇人がつめかけて「おめでとう」の声も明るくお御酒をくみ交わしました。献立は会費二五〇円でまかなわれ、これで新年の虚礼を全廻しようとするもの。しかし、参會者が昨年を下廻つたことについて長谷山分館長は、前に逆もりしたむきもあつて、同礼をしている人もいる。これをなくすことが、これから的生活運動

な考えだけでは問題の解決が出来ない場合もたくさんでてきますので、教育もやはり村民一人一人の責任であることを考えて物や金の足らないところは人の力で補うという強い決意のもとによい教育をより早くやれる様にと願つてやみません

